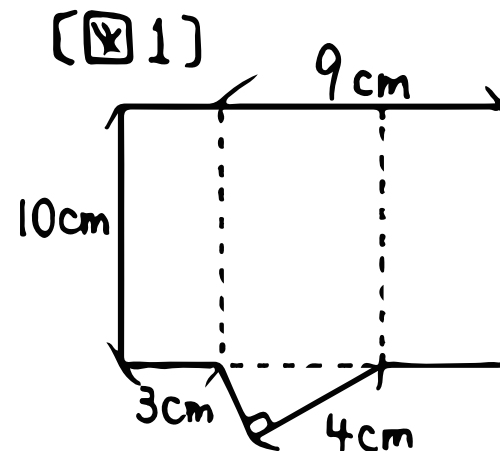
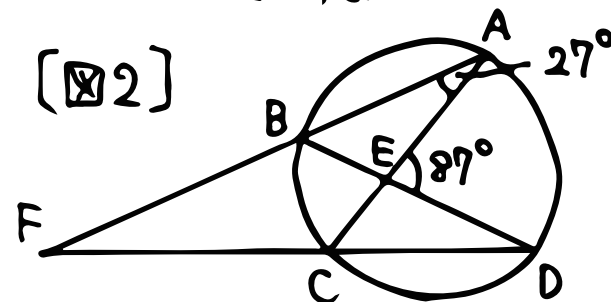


# 受験対策・図形②

① 右の〔図1〕のような図形を組み立てて、三角柱の形をした容器をつくりました。この容器を立てて、中に $48\text{cm}^3$ の水を入れたとき、水が容器にふやけている部分の面積を求めよう。ただし、容器の厚みは考えないものとし、水がこぼれることもないものとする。



② 右の〔図2〕のように、円周上に4点A、B、C、Dがあります。ACとBDの交点をEとし、直線ABと直線CDの交点をFとします。 $\angle BAC = 27^\circ$ 、 $\angle AED = 87^\circ$ のとき、 $\angle AFD$ の大きさを求めよう。



③ 右の〔図3〕で、 $\triangle ABC$ は $AB = AC$ の二等辺三角形です。辺BC上に点Dをとり、ADを折り目として折り返し、頂点Bが移った位置をEとします。辺BCとAEの交点をFとすると、 $FD = FE$ になりました。 $\angle BAD = 42^\circ$ のとき、 $\angle ACB$ の大きさを求めよう。

